

臨床研究「線維柱帯切開術前後の眼圧変動の検討」 について

筑波大学附属病院眼科では、標題の臨床研究を実施しております。本研究の概要は以下のとおりです。

① 研究の目的

緑内障手術は眼内の水分を排出する路の抵抗を減少させて目の内圧（眼圧と呼びます）を下げる手術です。主要な術式として線維柱帯切除術と線維柱帯切開術があり、線維柱帯切開術は線維柱帯切除術と比較すると術後の眼圧下降効果は弱いと言われていますが、近年、眼の壁に穴を開けずに比較的安んで行える線維柱帯切開術が登場し進化を続けています。この研究の目的は、線維柱帯切開術を受けた方において、放射状切開併用線維柱帯切開術を行なった方と、水平型線維柱帯切開術を行なった方とで、術後の眼圧や視力、神経線維層を比較することです。

② 研究対象者

2018年4月～2020年3月までに太宰府吉富眼科で水平型線維柱帯切開術を施行された患者さまで、カルテに下記のデータが記載されている20歳以上の患者さまを対象にしております。

③ 研究期間

倫理審査委員会承認後～2022年9月30日まで

④ 研究の方法

放射状切開併用線維柱帯切開術を行なった方と、水平型線維柱帯切開術を行なった方とで、術後の眼圧が術前から20%以上下降した割合、眼圧、視力、神経線維層を比較します。

⑤ 試料・情報の項目

患者情報：年齢、性別、術眼

検査情報：裸眼視力、矯正視力、眼圧

（術前・術後1日・1週・2週・1ヶ月・3ヶ月）

屈折（術前・術後1日・1ヶ月・3ヶ月）

隅角形状、毛様体剥離の有無、神経線維層解析

（術前・術後1ヶ月・3ヶ月）

⑥ 試料・情報の第三者への提供について

太宰府吉富眼科病院から提供されるカルテ情報は名前、住所など患者さんを直接特定できる情報を除いて匿名化し、電子媒体にして筑波大学へ提供されます。

⑦ 試料・情報の管理について責任を有する者

筑波大学附属病院 眼科 病院講師 長谷川優実

太宰府吉富眼科 院長 吉富文昭

⑧ 研究機関名および研究責任者名

筑波大学附属病院 眼科 教授 大鹿哲郎

太宰府吉富眼科 院長 吉富文昭

⑨ 本研究への参加を希望されない場合

患者さんやご家族（ご遺族）が本研究への参加を希望されず、試料・情報の利用又は提供の停止を希望される場合は、下記の問い合わせ先へご連絡ください。すでに研究結果が公表されている場合など、ご希望に添えない場合もございます。

⑩ 問い合わせ連絡先

筑波大学附属病院

〒305-8576 茨城県つくば市天久保 2-1-1

所属・担当者名：眼科 病院講師 長谷川優実

電話：029-853-3148（平日9～17時）